

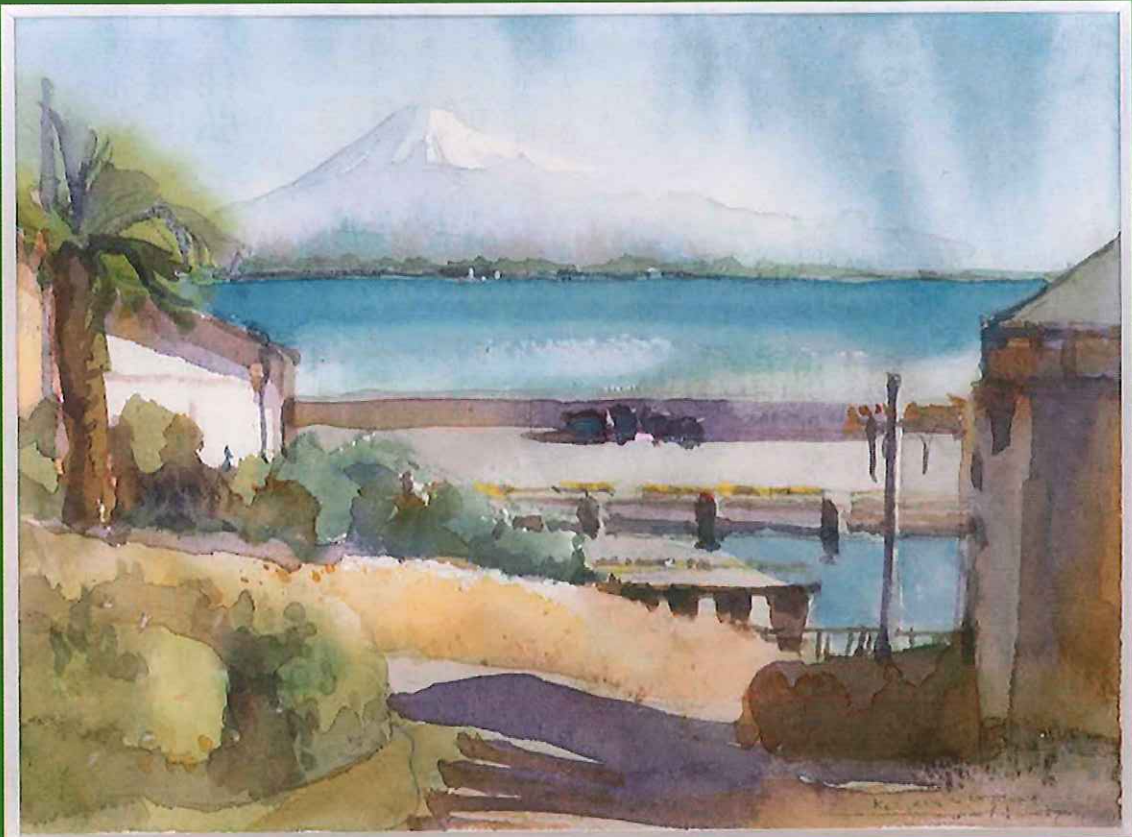
シルバー 牧之原

令和5年 1月 吉日

55号

編集・発行
公益社団法人
牧之原市シルバー人材センター

牧之原市片浜 1216-1
TEL: 0548-52-5080



提供：K・Mさん

明けましておめでとうございます

会員の皆様方にはおすこやかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます
今年も皆様方にとって素晴らしい年になりますよう 心よりご祈願いたします

新年のご挨拶



(公社) 牧之原市シルバー
人材センター 理事長

本杉 佳弘

明けましておめでとございます

皆様方におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日ごろは当センターの事業運営にあたり、牧之原市をはじめ多くの関係機関や各事業所、市民の皆様方よりご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けておりましたが、会員の皆様方をはじめ、従業員の熱意ある取り組みとご尽力により事業を進めることができました。

人口減少、少子高齢化により、労働人口の減少が進み、定年延長や再雇用政策が定着をしたことにより、高齢者の労働力としてのシルバー人材センターの役割が、これまで以上に強く求められております。

こうした時代に、就業を通じて高齢者の福祉の増進、生きがいの充実、健康の維持増進等、当センターに向けられる地域社会の期待

は大きなものになっております。

高齢化社会に向かって、地域における高齢者の就業機会の創出と拡大を推進するとともに、元気で働く意欲のある高齢者の入会を促進し、会員拡大に取り組みとともに、地域の活性化に貢献できるように事業展開をしてまいります。

結びに、皆様方におかれまして素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



牧之原市長
杉本 基久雄

明けましておめでとございます

牧之原市シルバー人材センター会員の皆様方、役員の皆様方、並びに関係者の皆様方におかれましては、晴れやかな新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

牧之原市では、高齢者一人一人が自立し、安心した生活を送る事が出来る「みんなで築く健康・長寿のまち」を目指しています。

貴センターにおかれましては、多様な就業

機会の提供や地域に密着した活動を通じ、高齢者の皆様方が生きがいを感じながら充実した生活を送る事が出来るよう、ご尽力をいただいておりますことに心よりお礼申し上げます。また、会員の皆様方におかれまして、地域の活性化にお力添えをいただくと共に、社会の支え手として多大なる活躍をいただいておりますことに、重ねてお礼申し上げます。

少子高齢化が進む中、高齢者が健康で生涯現役として社会に参加することが求められ、シルバー人材センターの担う役割の重要性はさらに増しており、地域社会の発展に、より不可欠なものとなっていくと思われま

す。未だ新型コロナウイルス感染症の影響が残る厳しい状況の中ではございますが、皆様方が長年培ってきた豊かな知識や経験を活かし、社会を支える一員として幅広く活躍いただけますよう、今後ともシルバー人材センターの運営を支援してまいります。

結びに、牧之原市シルバー人材センターのますますの充実と発展を期待いたしますとともに、会員の皆様方のご健勝を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。





牧之原市議会議長
植田 博巳

新年おめでとうございます

牧之原市シルバー人材センターの会員の皆様方におかれましては健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

近年、本市を取り巻く環境は、少子高齢化、人口減少に加え、新型コロナウイルス感染症のまん延やロシアのウクライナ侵攻による原油や物価の高騰など、国内外での急激な変化に加え、豪雨や竜巻被害などの自然災害の頻発により厳しさを増しています。

本市議会は、新たな議員体制の中、様々な課題を解決するため、「持続可能なまちづくり」「高齢化社会対策」の政策提言書を市長に提出しました。また、令和5年度から始まる第3次総合計画に関し、特別委員会を設置し、「次世代につながるまちづくり」を推進するため、議会として積極的な活動を行ってまいりました。

現在、本市の高齢化率（令和4年10月現在）は32.7%となっており、高齢者世帯や独居老人世帯の増加により、日常生活に不便を強いられている方も多くなっています。

このような中、シルバー人材センターの皆様方には、今まで培った経験と技術により、地域の担い手として地域経済活動や地域環境の維持にご尽力いただいているとともに、家事の援助・福祉サービスなどにも取り組まれ、時代とともに変化する社会のニーズに応え、牧之原市を支える大きな力となっていたいただいていることから感謝申し上げます。

牧之原市シルバー人材センターの益々のご発展と会員の皆様方にとって素晴らしい年になりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



衆議院議員
井林 辰憲

新年おめでとうございます

牧之原市シルバー人材センター会員並びに関係者の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

現在、我が国は少子高齢化を迎え労働力が減少しており、シルバー人材センターの皆様方にはこれまでの経験、技術「地域の担い手、働き手」として益々期待されております。

しかし令和3年度の統計で、会員数はピーク時より約11万人減少しています。政府ではこれらの現状を踏まえ平成27年度から補助金を毎年交付し、令和4年度の当初予算146億円に加え42億円の新規事業への補正予算を組みました。増額された予算は令和5年10月に導入されるインボイス制度に於いて懸案となっており、シルバー人材センターの消費税負担の影響を軽減すべく、免税事業者からの仕入れについて導入から3年間は8割、その後3年間は5割の仕入れ額控除を可能とするためのデジタル化を推進いたします。これにより業務運営の効率化・簡素化による業務コストの削減を図り、新規会員や受注の増加によるセンターの安定的な運営の基盤強化を図ることが目的です。

更には個々の会員へのデジタル環境の活用支援を行い、会員間および会員同士のコミュニケーション手段を充実させることにより地域の高齢者が孤独・孤立に陥ることなく安心して社会参加できる環境を整備してまいります。

少子高齢化が急速に進む今日において、地域経済の維持、人材不足の解消、高齢者の生きがいの充実など、多様な形で社会参加することが求められています。

本年も会員の皆様方のご活躍並びに、牧之原市シルバー人材センターの益々のご発展と会員の皆様方におかれまして素晴らしい一年となりますようご祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和5年

年男・年女



「汗弾け飛び・笑顔弾け飛び」

鈴掛 ひろみ (勝俣)

謹んで初春のお慶びを申し上げます。昨年は大変お世話になりました。今年は何んと6回目の年女。年を重ねることはたくさんの方に支えられた年月。仕事中、「いつも綺麗にしてくれてありがとう。」「労いの言葉を頂き、有り難く感じ、疲れは消えてしまいます。感謝を忘れず、健康に気を付け、楽しく過ごせるようがんばりたいと思います。」

「シルバーに人あり、技あり、心あり」

年寄元気 (東萩間)

シルバーに入会して三

年目、先輩一人と三人で作業を行っていきます。会社勤めの時、先輩に一メートルの高さが一番危ない高さだよ、一メートル(一命を取られる)といわれたことを思い出し、作業には安全を心掛けて毎日を過ごしています。働ける間は少しでも身体と頭を使い無理のないように。プロレスラーのアントニオ猪木さんが言ったように、「元気があれば何でもできる。」人との出会いも大事にしながら、「今日も一日がんばって」の声に見送られて、今日も元気で出勤です。



「健康に気を付けて」

大川 勉 (菅ヶ谷)

小堤山公園に出かけて、毎朝30分くらいですが歩いています。シルバー人材センターに再登録をしました。健康に気を付けて、長くシルバーで働けるように頑張ります。

「健康第二」

増田 英雄 (大沢)

あけましておめでとうございます。1951年生まれ、今年72歳になります。皆様方、ただただ健康に気を付けてください。



「喜んでもらえるように」

仁藤はつゑ（波津）

新しい年を元気で迎えることができ、うれしいです。これもシルバーに入って、多くの人と仕事をしてのおかげと思っています。私も入会して十年ちよつとになります。家にいたままでは、今の私はないでしょう。時々でも出かけていけば、多くの人と世間話をしたり、笑ったりできます。笑うことはいいことです。ね。これからも就業先の方の期待に応えられるよう、喜んでもらえるよう心がけて仕事に取り組みたいと思います。もう少しがんばります。

「令和5年吉日」

太田晴美（大沢）

私がシルバー人材センターのお世話になり、五年が経ちました。最初のうちは、右も左もわかりませんでした。草刈り機もあまり使ったことはありませんでした。でも先輩方のご指導で、今ではなんとか使えるようになりました。また、剪定の仕事など色々な仕事に取り組んでいます。そして、人生の先輩たちと知り合い、仕事以外にも色々な経験ができました。シルバーには、人あり技あり心ありといわれていますが、本当にそのとおりだと思います。最近、グランドゴルフにも参加し、多くの人と知り合い、人のつながりもできまし

た。充実した毎日を送っております。お金は必要ありません。大事なものは、お金以上のものをシルバーに入って、得ることができたと思っています。

「シルバー人材センターにお世話になって」

R・M（東萩間）

年が明けると自分でもびっくりするような年齢になってしまいます。気持ちは若いかなと思っていますが、物忘れは多いし、新しいことはなかなか慣れないし、また健康面もだんだん怪しくなってきました。でも、仕事ができ、ありがたい思います。

常に感謝の気持ちを忘れず、これからも元気に過ごしたいと思います。





安全委員会だより

安全標語の選考発表

令和4年9月30日の安全委員会にて安全標語の選考が行われました。応募総数は78通でした。ご応募いただいた会員の皆様方、どうもありがとうございました。

- **最優秀賞** ・慣れた仕事に事故多し 初心にかえり安全作業 横田 春雄
- **優秀賞**
 - ・助け合い 声掛け合って 事故はなし 八木 功
 - ・油断とあせりが事故のもと 大澤 聖典
- **入 選**
 - ・急に起きる事故と怪我 仲間同士で声かけを 中島 晴美
 - ・安全作業 声掛け合い 意思疎通 西藤 祐司
 - ・まだやれる 過信慢心は事故の元 本杉 尚士

安全意識の高揚を願って標語の募集をします

- 作 品：安全就業に関する自作・未発表のもの ○審査結果：会報 第57号にて発表予定
 - 賞：最優秀賞・優秀賞・入選 ○締め切り：令和5年8月末日
 - 応募先：牧之原市シルバー人材センター事務局 ○表 彰：令和6年6月の通常総会
- 入賞者には素敵な賞品を用意しております。たくさんのご応募をお待ちしております。

就業中の事故発生状況

令和4年5月から令和4年12月までに、下表のような就業中の事故が発生しました。

	発生月	年代	仕事内容	事故の発生状況
1	5月	70代	剪定	電話線切断
2	6月	70代	配膳	転倒し、しりもちをついて大腿骨骨折
3	7月	70代	清掃	すべって転倒し、頭部裂傷
4	8月	80代	草刈り	飛び石による車両のガラス破損
5	8月	80代	草運搬	トラックのマフラーの真下に集めた草から出火したため緊急通報
6	9月	70代	草刈り	公園で作業中、高所より落下 腰椎を圧迫骨折
7	10月	80代	粗大ごみ回収	洋ダンス回収中に、フロア床材にキズをつける
8	11月	70代	剪定	切り株につまずき転倒し、左太ももを裂傷
9	12月	70代	剪定	足を踏み外し側溝に転落、折れた肋骨が肺を傷つけた
10	12月	80代	営繕	就業先で転倒、顔面から肩にかけて強打

年末にかけて、屋外作業での大きな事故が発生しました。会員の皆様方、改めて安全作業について気持ちを新たに取り組んでいきましょう。「無事に帰宅するまでが安全就業」を心がけましょう。

スマホ講習会

7月21日、9月16日、マキノハラポにおいて、会員の皆様方向けのスマホ講習会が行われました。両日ともに通信アプリ「ライン」の使い方について、講師から説明を受けながら、実際に自分のスマホを操作しました。



剪定講習会

11月28・29・30日の3日間にわたって、シーサイドパーク相良ほかにおきまして、剪定講習会が行われました。参加者は11名。菊川市の大橋造園さんを講師にお招きし、実際の作業を見学しながらの実技講習や、樹木に関する座学に取り組みました。参加者からは、ここで、学んだことを実際の就業に活かしたいとの抱負が聞かれました。



門松づくり

新しい年を迎えるにあたり、会員有志による年末恒例の門松づくりが12月26日に行われました。門松は、相良・榛原両庁舎に飾られました。



互助会だより



10月21日 図書交流館『いこっと』にて

手芸クラブ

10月21日金曜日、読書の秋にちなみ、作成したしおりを、相良・榛原両図書館に寄贈しました。



手芸クラブ

毎月第1木曜日 9:30 ~
カタショー 会議室
1月から3月は、タペストリーを作ります。
いつでも、見学にお越しください。

グラウンドゴルフ

3月11日 相良港グラウンド
8:00集合 8:30試合開始
年会費 500円 大会参加費 200円

ウォーキングクラブ

3月予定
お花見ハイキング (行先未定)
日程等、お電話でお問い合わせください。

カラオケクラブ

毎月第1日曜日 13:00 ~
吉田町住吉「つみ木」
見学希望の方大歓迎です!!

令和4年度のクラブ活動について



【当選番号】

1等	432		
2等	683	411	
3等	530	238	191
	以上下3桁		
4等	83	38	
	以上下2桁		
5等	2	8	
	以上下1桁		



昨年1等は日立スティッククリーナー、2等はタニタ体組成計でした。今年誰に何が当たるかな？

当センターからお届けした年賀状等の番号で、互助会役員により「牧之原市シルバー人材センターお楽しみ抽選会」が行われました。当選された方は、2月1日から2月28日までに、当選したハガキをお持ちになって事務局にお越しください。

お楽しみ抽選会



会員の広場

今回は、令和4年5月から令和4年10月までの間に入会された皆様方に原稿をお願いしました。

感謝の気持ち

田中 恒夫（静波）

昭和32年に生まれ、65歳の私は40年ほど前、嫁の実家が農家だったので、一番茶の袋出しの手伝いに行ったことがあります。

今回、片浜の茶畑の茶葉運搬の作業と大根畑の草取りをしました。そして農家さんが、大根の作付けのための畑の消毒、草取りなど大変ていねいにされているのを見て、その心配りに、消費者のひとりとして感謝の気持ちでいっぱいになりました。

私が草取りをした農家さんの国道わきの畑には、今、大根の葉が青々と繁っています。



私の第2の人生

村田 有三（坂口）

現役時代の経験を活かし、調和のとれた『明るい仲間づくり』をし、これからの人生を『歩んで行きたい』と、考えています。

シルバーワーク一年生

櫻井 泰子（勝間上）

三十余年の勤めをこの春退職し、さあ、これから自由になると喜んでいました。猫の額ほどの野菜畑と近くにできたグラウンドゴルフに仲間入り。新聞と読書の時間もたっぷりあった、幸せ気分も3か月。何か物足りなさがあり、メリハリの利いた生活が必要と感じ、シルバー人材センターに入会し、仕事を紹介してもらいました。無理のない時間で働いて、健康のありがたさを日々感じております。『身に叶ふ 仕事に出会い 天高し』

初めてのシルバー、まだまだ小僧？

池田 敦（静波）

65歳で会社を定年退職しシルバーに登録初めての仕事は「静波海水浴場料金徴収」大先輩の方々が元気で頑張っている姿に感心し、自分はまだまだ小僧だと実感した次第です。

私の第2の人生について

相羽 勉（大沢）

私は53年間大工として働いてきましたが、2年ほど前に脊柱管狭窄症という診断を受け、半年ほど悩んだ末に思い切って手術を受けました。手術は成功し、半年後にはコルセットもはずれ、一年後には運動をしてもいいよという許可も出ました。

いよいよ第2の人生の始まりだと意気込みましたが、ときはコロナ禍の真っ最中、人との接触を避けなければなりません。悶々としながら数か月が過ぎたころ、『広報まきのはら』でシルバー人材センターの広告を見て、すぐに応募しました。

初めての仕事は、刈り取った草木を処理場まで運ぶ仕事でした。一緒に作業した会員さんもやさしく親切で、気持ちよく仕事が出来ました。大変感謝しております。

シルバーにおいての第2の人生は、まだ仕事の回数も少なく月日も浅いのでコメントはできませんが、事務所のスタッフの皆さんがいつも明るくにこやかに対応してくれることが大変うれしです。残り少ない自分の第2の人生を少しでも明るくできるように頑張ります。

これからは

藤浪 寛（勝俣）

私も来年2月で66歳になります。自分でもこんないい歳になってしまったのかと思うこの頃です。

そしてこれからは家族、また仲間とおもしろおかしく、のんびりと残りの人生を過ごしたいと思っています。

会員の広場では、広く会員の皆様方から、原稿を募集いたします。内容、形式は自由ですが誌面の都合上、多少の編集をさせていただきますことをご了承ください。

新会員の紹介

ごいそようしへ

令和4年10月31日現在

池田 敦(静波)	石津 治(地頭方)
山村 利夫(細江)	高橋 健美(波津)
西川 宣男(須々木)	峯野 勝巳(勝俣)
永田 陽一(勝俣)	田原 通子(東萩間)
山崎 一夫(須々木)	永田 登(布引原)
片瀬 辰雄(静波)	大川 勉(菅ヶ谷)
櫻井 泰子(勝俣)	寺本 和由(勝俣)
三浦れつ子(東萩間)	秋沢 進(波津)
八木 茂(波津)	田中 恒夫(静波)
沖 起巳代(松本)	藤浪 寛(勝俣)
杉山 昌男(大沢)	村田 有三(坂口)
北村 紀子(細江)	大村 修(静波)
霧生 秀子(細江)	小杉 廣治(堀野新田)
名波 信明(勝俣)	
相羽 勉(大沢)	



交通安全トラの巻 (静岡県くらし交通安全課より)

令和4年11月1日から「自転車安全利用五則」が変わりました。

- ① 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
- ② 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- ③ 夜間はライトを点灯
- ④ 飲酒運転は禁止
- ⑤ ヘルメットを着用(全年齢対象)

※自転車の保険加入は義務です。



出張事務所のお知らせ

●配分金明細書、就業報告書の受け渡し
お悩み相談、入会説明会など、ご活用ください。

日程

- ・相良地区(相良保健センター内)
2月21日(火) 3月15日(水)
- ・榛原地区(旧榛原事務所)
2月1日(水) 2月15日(水)
3月1日(水) 3月15日(水)

両会場とも午前9時から午後3時まで
※会場使用許可状況により変更有

編集後記

新年おめでとうございます
今年も皆様方に楽しんでいただける誌面作りに取り組んでまいります。

令和5年(2023年)は「癸卯(みずのとう)」
「癸」は、物事の終わりと始まりを、「卯」はうさぎのように跳ねあがるという意味があり、何かを始めるのに縁起がいいといわれています。このふたつを組み合わせた「癸卯」は、「これまでの努力が実を結び、飛躍する年」と考えられます。コロナ禍が終わりを迎え、新たな生活が始まる年になりますように。

余談ですが、今年のNHKの大河ドラマの主人公は徳川家康公です。戦国の世を終わらせ、太平の世の始まりを築いた徳川の家紋は、草冠に「癸」の「葵」。

偶然とは思いますが、今年こそ、コロナ禍の終息を迎えられそうな気がしてなりません。最後に、会報に寄稿された皆様方にお礼申し上げます。

編集委員

- 委員長 鈴木 干城(大寄)
- 益富 数義(静波)
- 大澤 聖典(細江)
- 堀 八重子(相良)
- 仲間公美子(事務局)